

モスネツズマブ(SC) C1

1コース期間: 21日

所要時間:

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1	day8	day15
1	ジフェンヒドラミン 50mg アセトアミノフェン 1000mg デキサメタゾン 20mg		po			○	○	○
2	モスネツズマブ 5mg	5 mg/body	SC		30秒～2分	○		
2'	モスネツズマブ 45mg	45 mg/body	SC		30秒～2分		○	○

コメント

- ・モスネツズマブ投与前に前投薬(DEX、ジフェンヒドラミン、アセトアミノフェン)を内服投与すること。
- ・初回5mg投与開始後48時間は必ず入院管理とする。
- ・モスネツズマブによるCRSが発現した患者には、CRSが現れなくなるまで副腎皮質ホルモン剤を前投与する。
また、サイクルによらず必要に応じてジフェンヒドラミン、アセトアミノフェンの前投与を検討すること。
- ・TLS予防のため、投与時は水分摂取を十分行うこと(投与開始の1～2日前から約2～3L/日の水分摂取開始が推奨される。
投与終了後は、少なくとも24時間は150～200mL/hの投与速度での静脈内補液を行う)
- ・TLS発症リスクが低または中程度の場合は、アロプリノール(例:300mg/日の経口投与を本剤投与72時間前から3～7日間)等を投与する。
- ・本剤投与前に尿酸値が上昇した場合、またはTLSのリスクが高い場合は、ラスブリガーゼ(例:0.2mg/kg静脈内投与を本剤初回投与開始前に30分かけて、及びその後5日間)等を投与する。
- ・モスネツズマブは大腿部もしくは腹部に皮下投与(どちらも困難な場合は、上腕部を選択可能)

モスネツズマブ(SC) C2以降

1コース期間：21日

所要時間：

Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度	投与時間	day1
1	モスネツズマブ 45mg	45mg/body	sc		30秒～2分	○

コメント

- ・モスネツズマブによるCRSが発現した患者には、CRSが現れなくなるまで副腎皮質ホルモン剤を前投与する。
- ・また、サイクルによらず必要に応じてジフェンヒドラミン、アセトアミノフェンの前投与を検討すること。
- ・TLS発症リスクが高いと判断した場合は、投与時に予防措置を実施する。
- ・休薬後6週間以上経ってからの再開時は、day1:5mg、day8:45mgで投与を再開し、その後はday1に45mg(前投薬は任意)を投与すること。